

継続看護研修会

看護部にはいろいろな役割をもつ委員会があります。継続委員会は、患者さまやご家族が退院後も安心して生活ができるように、入院時からの計画的な関わりを検討し、みんなで学習していくことを役割としている委員会です。

継続委員会主催で、11月29日(土)に「継続看護研修会」を開催しました。地域の保健師、訪問看護師、ケアマネジャー、相談員の方々（行政を含めて7事業所、12名）をお迎えして、当院の看護師、ソーシャルワーカー（14名）が参加する合同研修会でした。ここ数年は事例を振り返る研修会でしたが、今年は脳卒中の事例から「理想の連携のかたちを考える」ことをテーマとしました。



病気や怪我で入院し、治療をしても元通りの体に戻ることができないこともあります。当然、生活も元通りというわけにはいかなくなります。障害や病気をかかえた患者さまやご家族が退院後も安心して生活をしていくためには、地域のいろいろな職種の人たちが支援体制をつくるのが大切です。そのためには、入院中から情報交換をしたり、話し合いの場を持ったりしていく必要があります。一人の患者さま、ひとつの家族を支えるために、

多くの職種の方々が熱い思いで意見交換をしました。立場が変わると視点も変わるので、新たな発見がたくさんありました。また今まで見えていなかったお互いの立場を知ることもできました。

今回の研修で得られた成果を活かして、これからも一人ひとりの患者さま、ご家族を支援していきたいと考えています。また、地域の中核病院として、地域のいろいろな職種の方々と意見交換をしたり、学習会をする中で、顔の見える関係をつくり、よりよい連携ができるようにしていきたいと思っています。

